

名古屋市立学校部活動 活動日・活動時間の基準 (抜粋)

小学校部活動

【学期中における通常の校内での練習】

活動日は、週3日以内とする。

活動時間は、1日1時間30分以内とする。

学校休業日（土曜日、日曜日、祝日）は休養日とする。

【長期休業期間中における通常の校内での練習】

週3日以内、1日1時間30分以内での活動とする。土曜日、日曜日、祝日は、原則として活動は行わない。

【その他】

児童が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、1週間以上のまとまった休養期間（オフシーズン）を設ける。

公式戦を除く各種大会及び練習試合への参加は、年間6日間を上限とし、参加する大会等を精査する。

児童の下校時の安全や負担を考え、季節に応じて下校時刻を調整するなどの工夫を行う。

中学校部活動

【学期中における通常の校内での練習】

活動日は、週5日以内とする。

平日は少なくとも1日、土曜日・日曜日は少なくとも1日を休養日とする。

（土曜日・日曜日に、公式戦や公式戦を除く各種大会及び練習試合への参加により、2日間連続して活動した場合は、月曜日を休養日に振り替える。）

活動時間は、平日は1日2時間以内（朝練を含む）、学校休業日（土曜日、日曜日、祝日）は1日3時間以内とする。

【長期休業期間中における通常の校内での練習】

週5日以内、1日3時間以内での活動とする。土曜日、日曜日、祝日は、原則として活動は行わない。

【その他】

生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、1週間以上のまとまった休養期間（オフシーズン）を設ける。

各学校において生徒の教育上の意義や生徒や顧問の負担が過度にならないことを考慮して、公式戦を除く各種大会及び練習試合への参加は、年間24日間を上限とし、参加する大会等を精査する。

生徒の下校時の安全や負担を考え、季節に応じて下校時刻を調整するなどの工夫を行う。

高等学校部活動

活動日・活動時間は、原則として、中学校部活動と同様の取り扱いとする。ただし、学校の特色や生徒の意志に留意した運用とする。